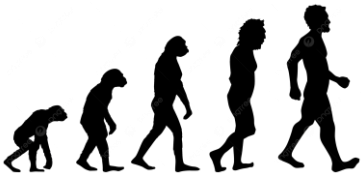
めざせ！南十字星

笑顔があふれ，しあわせを感じられる学校

学 校 便 り
令和７年１０月学校行事号
ヨハネスブルグ日本人学校

人類の足跡をたどる体験学習に出かけました！



１０月３日、Ｇ５からＧ８の児童・生徒たちとともに、南アフリカが誇る世界遺産「ステルクフォンテイン洞窟」へ校外学習に出かけました。ヨハネスブルグ近郊、ハウテン州北西部に位置するこの地は、「人類誕生の地」として知られ、1999 年にユネスコの世界遺産（自然遺産）に登録されています。アウストラロピテクスなど初期人類の化石が多数発見されており、南アフリカ随一の考古・人類学研究拠点です。

当日は、まず「Visitor Centre」で展示を見学し、化石や岩石標本、古代生物のイラストなどを通して、人類の進化の歴史に触れました。その後、ヘルメットを装着して洞窟内へ。鍾乳石が連なる神秘的な空間に足を踏み入れ、数百万年前の地層や岩の形成を間近に観察することができました。子供たちは、ガイドの説明に耳を傾けながら、地球の長い歴史と人類の起源に思いを馳せていました。

見学後は、近くの「Bidon Bistro」で昼食をとり、自然に囲まれた穏やかな雰囲気の中で、学びの余韻を語り合うひとときを過ごしました。広々とした敷地での記念撮影では、笑顔とともに達成感がにじみ出ていました。

この校外学習は、教室では得られない「体験」を通じて、学びの幅を広げる貴重な機会となりました。学校から僅か１時間程度で訪れることが可能な世界遺産という人類共通の財産に触れることで、子供たちは自分たちのルーツや地球の多様性について考えるきっかけを得たことでしょう。今後も、こうした学びの場を大切にしていけるようにしていきたいと思います。

Visitor Centre の入口

展示ブースで１枚パチリ

博物館内で化石の作業を見学

有名な科学者と一緒に！

テーブル上の標本と説明パネル

遊歩道で記念撮影

昼食も美味しく頂きました